

資料

平成29年度 沖縄県産業廃棄物実態調査 フォローアップ業務報告書

目次

資料1. 多量排出事業者による産業廃棄物処理計画実施状況報告の集計結果	資-1
資料2. 農業系廃棄物の集計結果	資-3
資料3. 発生及び処理・処分状況に関する統計表（動物のふん尿除く）	資-4
資料4. 意識調査結果	資-11
1. 排出事業者	資-11
2. 処分業者	資-20

資料 1. 多量排出事業者による産業廃棄物処理計画

実施状況報告の集計結果

平成 29 年度に提出された平成 28 年度分の多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書は 93 件（産業廃棄物：72 件、特別管理産業廃棄物：21 件〔うち産業廃棄物との重複 4 件〕）で、報告された廃棄物の種類毎に排出量及び処理量を集計した。

1. 産業廃棄物処理計画実施状況報告（平成 28 年度実績）の集計結果

(単位:トン)

区 分 種 類	排出量	自ら直接 再生利用 した量	自ら直接 埋立処分 又は 海洋投入 処分した量	自ら 中間処理 した量	④のうち 熱回収を 行った量	自ら 中間処理 した後の 残さ量	自ら 中間処理 により 減量した量	自ら 中間処理 した後 再生利用 した量	自ら中間 処理した 後自ら埋 立処分又 は海洋投 入処分し た量	直接及び 自ら中間 処理した 後の処理 委託量	⑩のうち 優良認定 処理業者 への 処理委託量	⑩のうち 再生利用 業者への 処理委託量	⑩のうち 熱回収認定 業者への 処理委託量	⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
燃え殻	2,506	1,260	1,219	11		1	10			17		1		
汚泥	171,953	14,382	1,378	94,832		7,291	83,295	10,909	430	61,215		59,022		21
廃油	214									214	81	1		22
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	2,209									2,179	82	828		215
紙くず	515									515	11	183		
木くず	7,155									7,155	181	4,413		4
繊維くず	23									23	1	5		
動植物性残さ	58,198	53,438		3,454	3,201			1,306						
動物系固形不棄物														
ゴムくず														
金属くず	867									867	30	505		
ガラス・コンクリート陶磁器くず	33,318	6,448								25,720	94	21,552		59
鋳さい	20,815			20,705			20,705			110	110			
がれき類	130,773	3,365		760				760		128,550	7,751	81,704		
ばいじん	132,690	11,436	2,781					1,515		116,958		116,841		
動物のふん尿														
動物の死体														
その他廃棄物	6,926									6,926	572	473		
合 計	568,162	90,329	5,378	119,761	3,201	7,292	104,010	14,490	430	350,449	8,914	285,527		321

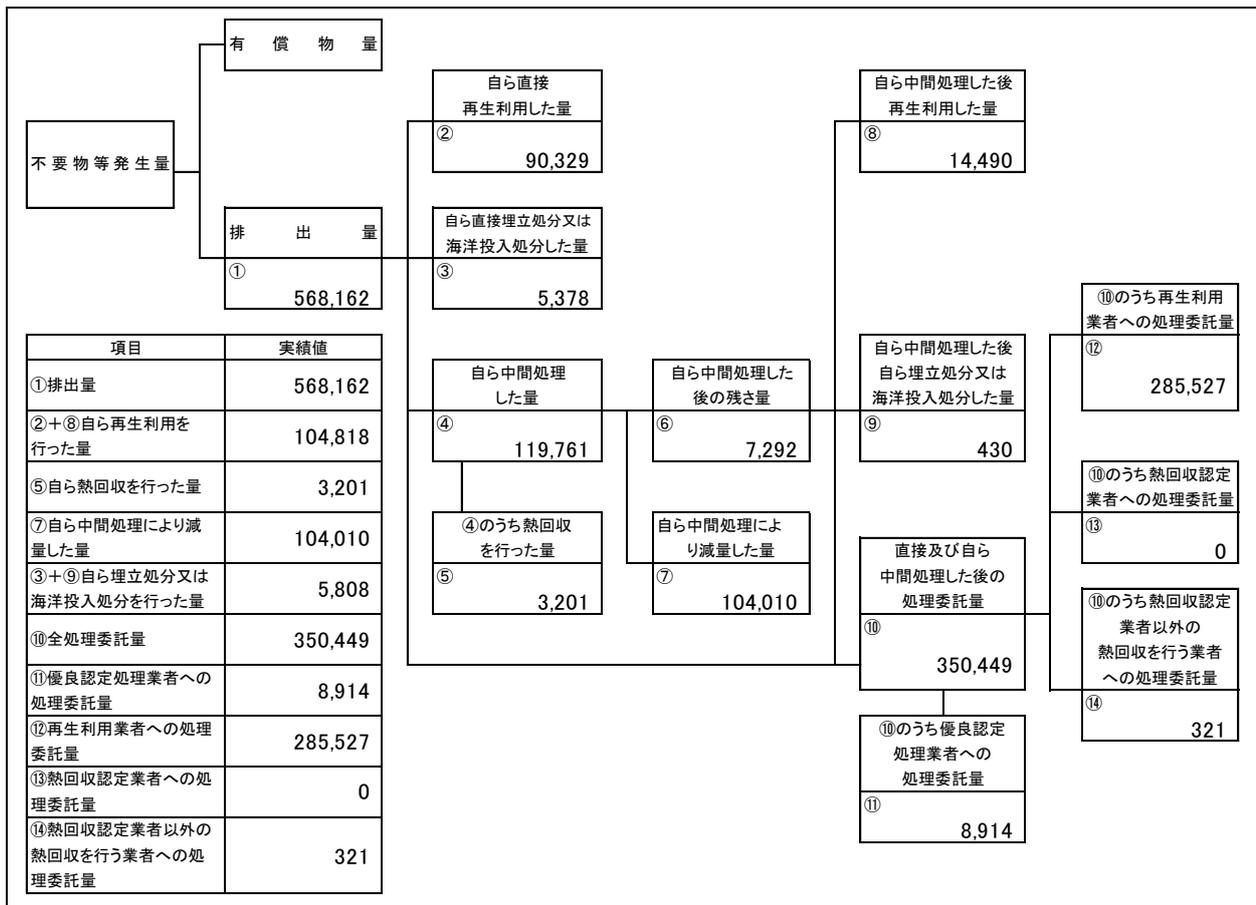
注) 表中の数値は四捨五入の関係で合計と個々の計が一致しない場合がある。

2. 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告（平成 28 年度実績）の集計結果

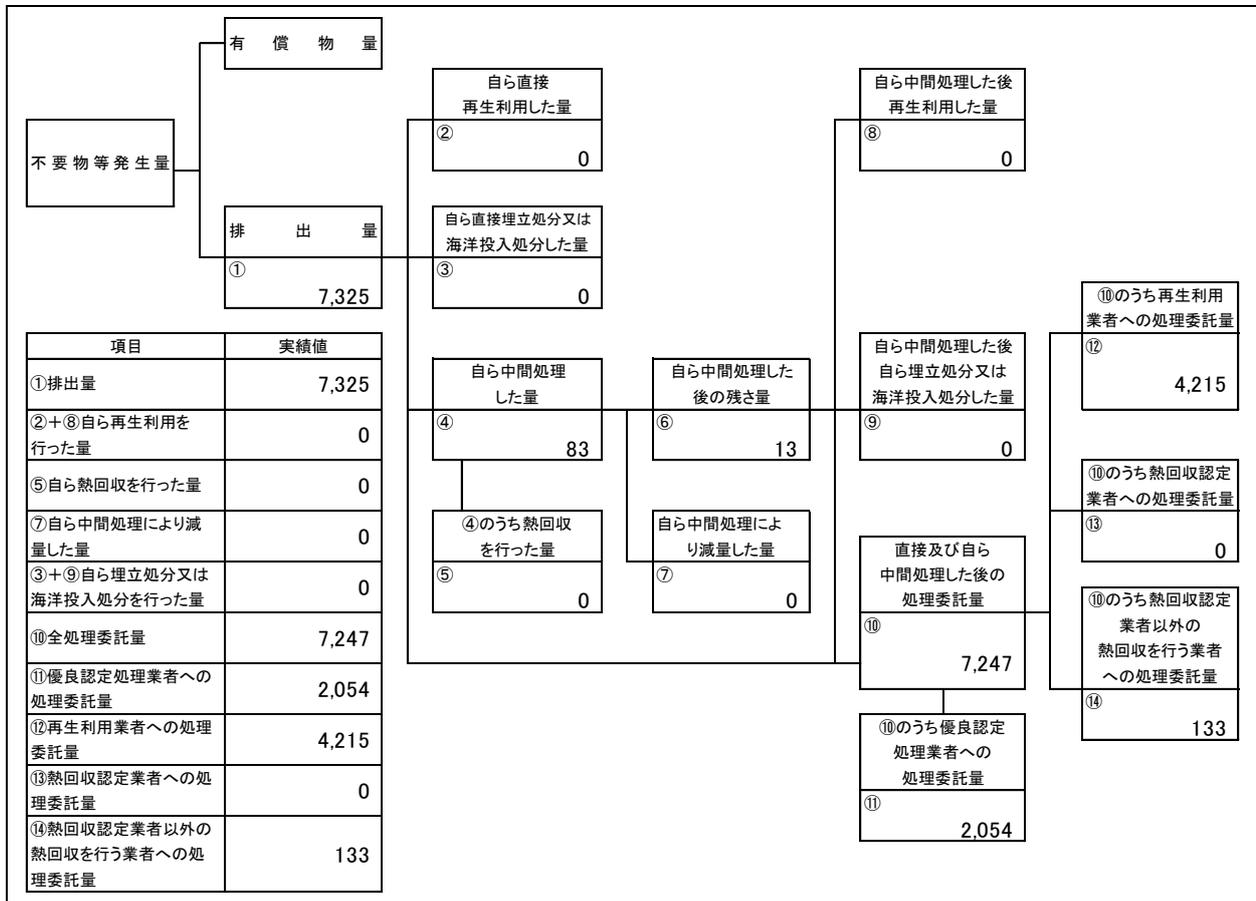
(単位:トン)

区 分 種 類	排出量	自ら直接 再生利用 した量	自ら直接 埋立処分 又は 海洋投入 処分した量	自ら 中間処理 した量	④のうち 熱回収を 行った量	自ら 中間処理 した後の 残さ量	自ら 中間処理 により 減量した量	自ら 中間処理 した後 再生利用 した量	自ら中間 処理した 後自ら埋 立処分又 は海洋投 入処分し た量	直接及び 自ら中間 処理した 後の処理 委託量	⑩のうち 優良認定 処理業者 への 処理委託量	⑩のうち 再生利用 業者への 処理委託量	⑩のうち 熱回収認定 業者への 処理委託量	⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
廃石綿等	7									7				
引火性廃油	5									5	1			1
特管ばいじん	4,130									4,130	2	4,129		
感染性廃棄物	1,290			83		13				1,211	245			132
廃酸・廃アルカリ														
特管廃油	1									1				
特管燃え殻	156									156	156			
特管汚泥	1,651									1,651	1,651			
特管鋳さい														
廃PCBなど	86									86			86	
合 計	7,325			83		13				7,247	2,054	4,215		133

注) 表中の数値は四捨五入の関係で合計と個々の計が一致しない場合がある。



産業廃棄物の処理フロー(平成 28 年度実績)



特別管理産業廃棄物の処理フロー(平成 28 年度実績)

資料2. 農業系廃棄物の集計結果

1. 動物のふん尿（平成28年度）

項目\区分	家畜飼養頭羽数 (頭、羽)	ふん尿量 (トン/年)
肉用牛	72,020	678,058
乳用牛	4,310	77,418
豚	217,130	504,415
採卵鶏	1,332,000	58,701
ブロイラー	583,239	27,675
合計	2,208,699	1,346,267

注1) 家畜飼養頭羽数（ブロイラーを除く）：畜産統計「平成29年2月1日現在」（農林水産省）

注2) ブロイラー飼養羽数：「家畜・家きん等の飼養状況調査結果」（平成28年12月、沖縄県農林水産部畜産課）

2. 動物の死体（平成28年度）

項目\区分	家畜飼養頭数 (頭)	死体重量 (トン/年)
肉用牛	72,020	842
乳用牛	4,310	173
豚	217,130	729
合計	293,460	1,744

注1) 家畜飼養頭数：畜産統計「平成29年2月1日現在」（農林水産省）

3. 農業系廃プラスチック類（平成26年度）

(単位:トン/年)

区分	埋立	焼却	再生	その他	合計
合計	298.8	268.8	440.1	20.8	1,028.5

出典：「沖縄県の園芸・流通」（平成29年2月 沖縄県農林水産部）

資料3. 発生及び処理・処分状況に関する統計表（動物のふん尿除く）

1. 種類別の発生及び処理・処分状況（平成28年度：種類別変換）

（単位：トン/年）

区分 種類	発生量	有償物量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量 (保管量)	資源化量
合計	2,078,922	288,246	1,790,675	925,592	820,638	43,735	711	1,213,838
燃え殻	8,056	6,215	1,841	850	▲ 1,874	2,865		7,065
汚泥	931,723	41,369	890,355	104,558	784,071	1,703	23	145,927
廃プラスチック類	21,633	197	21,436	7,751	543	13,116	26	7,948
木くず	35,713	79	35,634	25,798	8,062	1,122	652	25,877
動植物性残さ	334,486	193,097	141,389	125,024	16,365			318,121
金属くず	31,425	13,392	18,033	17,354	44	634	1	30,745
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	82,593	9,554	73,039	63,166	▲ 1,786	11,654	5	72,720
鉱さい	22,056	173	21,883	21,883				22,056
がれき類	427,397	5,624	421,773	415,267		6,505		420,891
ばいじん	140,492	15,891	124,601	121,818		2,783		137,709
上記以外の種類	43,348	2,656	40,692	22,123	15,212	3,353	4	24,779

注) 本表は、中間処理によって変化した処理後の種類(種類別変換の例: 木くず→焼却→燃え殻)で集計しているため、減量化量のうち増量(マイナス表記)となるものがある。

2. 種類別の発生及び処理・処分状況（平成28年度：種類別無変換）

（単位：トン/年）

区分 種類	発生量	有償物量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量 (保管量)	資源化量
合計	2,078,922	288,246	1,790,675	925,592	820,638	43,735	711	1,213,838
燃え殻	8,056	6,215	1,841	144		1,697		6,359
汚泥	931,723	41,369	890,355	113,993	774,649	1,690	23	155,362
廃プラスチック類	21,633	197	21,436	7,754	2,343	11,313	26	7,951
木くず	35,713	79	35,634	25,984	7,769	1,229	652	26,063
動植物性残さ	334,486	193,097	141,389	115,511	25,725	153		308,608
金属くず	31,425	13,392	18,033	17,354	42	636	1	30,745
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	82,593	9,554	73,039	63,166	199	9,670	5	72,720
鉱さい	22,056	173	21,883	21,883				22,056
がれき類	427,397	5,624	421,773	415,267		6,505		420,891
ばいじん	140,492	15,891	124,601	121,818		2,783		137,709
上記以外の種類	43,348	2,656	40,692	22,718	9,911	8,059	4	25,373

注) 本表は、中間処理を経た場合でも発生時の種類のまま(種類別無変換の例: 木くず→焼却→木くず)で集計している。

3. 業種別の発生及び処理・処分状況（平成28年度）

（単位：トン/年）

区分 業種	発生量	有償物量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量 (保管量)	資源化量
合計	2,078,922	288,246	1,790,675	925,592	820,638	43,735	711	1,213,838
建設業	501,328	2,956	498,371	461,978	9,724	25,990	679	464,934
製造業	642,764	253,685	389,079	281,613	102,406	5,059	1	535,299
電気・水道業	898,706	30,321	868,385	167,534	695,354	5,497		197,855
情報通信	2,890	368	2,522	667	33	1,822		1,035
卸・小売業	7,357	204	7,153	3,252	1,762	2,135	4	3,456
サービス業	5,564	277	5,287	2,125	2,529	633		2,402
その他の業種	20,312	434	19,878	8,423	8,829	2,599	27	8,857

表 3 - 1 種類別 - 発生及び処理・処分状況 (平成 28 年度)

(その1)

(単位: t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量					自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量				
				(D)	自己中間処理後量				(E)	(G)	自己未処理の処理内訳				(処理先地域の内訳)				
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)					(G1)	(G2)	(G3)		(G4)	(G5)	(I)	(J)	
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)											委託直接 最終処分量 (E4)
合計	2,078,922	288,246	1,790,675	907,962	157,422	60,364	1,133	95,273		652	882,714	112,787	4,415	756,645	8,808	59	866,985	5,548	5,548
燃え殻	8,056	6,215	1,841		13			13			1,841		1,219	355	267		1,854	1,219	1,219
汚泥	931,723	41,369	890,355	836,122	88,885	15,829	1,133	71,923			54,233		278	44,416	3	23	117,776	1,411	1,411
有機性汚泥	729,915	27,564	702,351	679,371	61,760	1,383		60,377			22,980			13,467			73,844		
無機性汚泥	201,808	13,805	188,003	156,751	27,124	14,446	1,133	11,546			31,253		278	30,949	3	23	43,932	1,411	1,411
廃油	7,969	347	7,622	1,753	1,752			1,752			5,869			5,869			7,621		
一般廃油	5,169	325	4,844	3	2			2			4,841			4,841			4,843		
廃溶剤	22		22								22			22			22		
固形油	2,492		2,492	1,750	1,750			1,750			742			742			2,492		
油でい	169	22	147								147			147			147		
油付着物類	117		117								117			117			117		
廃酸	705		705								705			705			705		
廃アルカリ	103		103								103			103			103		
廃プラスチック類	21,633	197	21,436	876	706	20		686			20,561		15	19,874	2,686	26	23,286	15	15
廃プラスチック	16,356	175	16,181	875	705	20		685			15,307		15	15,387	1,924	21	18,031	15	15
廃タイヤ	5,277	22	5,255	1	1			1			5,254			4,487	762	5	5,255		
紙くず	5,617	1,974	3,643	17	5			5			3,626			3,622	4		3,631		
木くず	35,713	79	35,634	2,103	2,043	739		652		652	33,531			33,518	13		34,835		
繊維くず	67		67								67			67			67		
動植物性残さ	334,486	193,097	141,389	6,985	4,276	3,458		818			134,404	101,599		42,318			43,136		
動物系固形不要物	930		930								930			930			930		
ゴムくず	103		103								103		94	8	1		103	94	94
金属くず	31,425	13,392	18,033	5,327	5,285	3,212		2,073			12,706	0		12,591	114	1	14,779		
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	82,593	9,554	73,039	5,579	5,579	1,178		4,401			67,460	2	26	68,438	1,028	5	73,899	26	26
鋳さい	22,056	173	21,883	16,894	16,894	16,894					4,989	4,526		463			463		
がれき類	427,397	5,624	421,773	31,781	31,781	19,035		12,746			389,992	6,660	1	379,322	4,009		396,078	1	1
コンクリート片	229,408	2,979	226,429	10,248	10,248			10,248			216,181			212,818	3,363		226,429		
廃アスファルト	171,913	2,645	169,268	21,533	21,533	19,035		2,498			147,735			147,138	597		150,233		
その他	26,076		26,076								26,076	6,660	1	19,366	49		19,417	1	1
ばいじん	140,492	15,891	124,601								124,601		2,781	121,820			124,601	2,781	2,781
動物のふん尿																			
動物の死体	1,744		1,744								1,744			1,744			1,744		
その他産業廃棄物	26,110	334	25,776	525	205			205			25,251			20,484	684	4	21,376		
感染性廃棄物	2,998		2,998	91							2,907			2,907			2,907		
混合物等	23,112	334	22,777	434	205			205			22,343			17,576	684	4	18,468		

(その2)

(単位：t/年)

区 分 種 類	委託処理量																再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)				
	(K) (O+L)	委託直接最終処分量								委託中間処理量								(Q) (I+O+M2)	(Q1) 事業者	(Q2) 自治体	(Q3) 処理業者						
		(O)	(処理主体の内訳)				(処理先地域の内訳)				(L)	(処理主体の内訳)				(処理先地域の内訳)								(M)			
			業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外		委託中間処理後量															
												(委託処理後の処理内訳)															
												再生利用量				最終処分量											
												(M1)				(M2)											
合計	860,726	8,808	7,982	826	8,433	375	851,918	849,161	2,757	845,355	6,563	781,820	752,441	29,379	925,592	43,735	5,548	1,235	36,952	711	1,213,838						
燃え殻	634	267	267		267		367	367		367		2,229	850	1,378	850	2,865	1,219	181	1,464		7,065						
汚泥	116,342	3	3		3		116,339	116,339		114,663	1,676	89,018	88,729	289	104,558	1,703	1,411		292	23	145,927						
有機性汚泥	73,844						73,844	73,844		73,844		49,463	49,233	230	50,616	230			230		78,180						
無機性汚泥	42,498	3	3		3		42,495	42,495		40,819	1,676	39,555	39,496	59	53,942	1,473	1,411		62	23	67,747						
廃油	7,621						7,621	7,621		7,566	54	4,851	4,851		4,851						5,198						
一般廃油	4,843						4,843	4,843		4,789	53	2,426	2,426		2,426						2,751						
廃溶剤	22						22	22		22																	
固形油	2,492						2,492	2,492		2,492		2,403	2,403		2,403						2,403						
油でい	147						147	147		147		22	22		22						44						
油付着物類	117						117	117		116	1																
廃酸	705						705	705		364	341																
廃アルカリ	103						103	103		66	37	6	6		6						6						
廃プラスチック類	23,245	2,686	1,860	825	2,678	8	20,560	20,350	210	20,528	32	18,147	7,731	10,416	7,751	13,116	15	825	12,276	26	7,948						
廃プラスチック	17,995	1,924	1,098	825	1,916	8	16,072	15,862	210	16,041	31	13,690	3,307	10,383	3,327	12,321	15	825	11,481	21	3,502						
廃タイヤ	5,250	762	762		762		4,488	4,488		4,487	1	4,457	4,424	33	4,424	795			795	5	4,446						
紙くず	3,631	4	4		4		3,627	3,627		3,627		2,280	2,223	57	2,223	61			61		4,197						
木くず	34,183	13	13		13		34,170	33,675	495	34,169	1	26,167	25,059	1,109	25,798	1,122			1,122	652	25,877						
繊維くず	67						67	67		67		35	34	1	34	1			1		34						
動植物性残さ	43,136						43,136	43,093	43	43,136		19,967	19,967		125,024						318,121						
動物系固形不要物	930						930	930		930		930	930		930						930						
ゴムくず	9	1	1		1		8	8		8		4	1	3	1	98	94		4		1						
金属くず	14,778	114	114		110	4	14,664	14,645	19	14,664		14,662	14,142	520	17,354	634			634	1	30,745						
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	73,867	1,028	1,027	1	836	192	72,839	72,597	242	72,795	44	72,585	61,985	10,600	63,166	11,654	26	229	11,399	5	72,720						
鋳さい	463						463	463		463		463	463		21,883						22,056						
がれき類	396,077	4,009	4,009		3,850	159	392,068	392,068		392,068		392,068	389,573	2,495	415,267	6,505	1		6,504		420,891						
コンクリート片	226,429	3,363	3,363		3,363		223,066	223,066		223,066		223,066	221,249	1,817	221,249	5,180			5,180		224,228						
廃アスファルト	150,233	597	597		438	159	149,636	149,636		149,636		149,636	149,190	446	168,225	1,043			1,043		170,870						
その他	19,415	49	49		49		19,366	19,366		19,366		19,366	19,134	232	25,794	282	1		281		25,794						
ばいじん	121,820						121,820	121,820		117,691	4,129	121,820	121,818	2	121,818	2,783	2,781		2		137,709						
動物のふん尿																											
動物の死体	1,744						1,744	686	1,058	1,744		426	426		426						426						
その他産業廃棄物	21,372	684	684		672	12	20,688	19,998	690	20,440	248	16,161	13,652	2,509	13,652	3,193			3,193	4	13,986						
感染性廃棄物	2,907						2,907	2,907		2,668	239																
混合物等	18,464	684	684		672	12	17,781	17,091	690	17,772	9	16,161	13,652	2,509	13,652	3,193			3,193	4	13,986						

表 3 - 2 種類別（無変換）－発生及び処理・処分状況（平成 28 年度）

(その1)

(単位：t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量					自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)			
				(D)	自己中間処理後量 (E)				(G)	自己未処理の処理内訳 (G1-G5)					(処理先地域の内訳)			
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)		その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)		委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	県内	県外
合計	2,078,922	288,246	1,790,675	907,962	157,422	60,364	1,133	95,273	652	882,714	112,787	4,415	756,645	8,808	59	866,985	5,548	5,548
燃え殻	8,056	6,215	1,841							1,841		1,219	355	267		1,841	1,219	1,219
汚泥	931,723	41,369	890,355	836,122	88,885	15,829	1,133	71,923		54,233		278	53,929	3	23	127,289	1,411	1,411
有機性汚泥	729,915	27,564	702,351	679,371	60,106	1,383		58,723		22,980			22,980			81,703		
無機性汚泥	201,808	13,805	188,003	156,751	28,778	14,446	1,133	13,200		31,253		278	30,949	3	23	45,586	1,411	1,411
廃油	7,969	347	7,622	1,753	1,752			1,752		5,869			5,869			7,621		
一般廃油	5,169	325	4,844	3	2			2		4,841			4,841			4,843		
廃溶剤	22		22							22			22			22		
固形油	2,492		2,492	1,750	1,750			1,750		742			742			2,492		
油でい	169	22	147							147			147			147		
油付着物類	117		117							117			117			117		
廃酸	705		705							705			705			705		
廃アルカリ	103		103							103			103			103		
廃プラスチック類	21,633	197	21,436	876	706	20		686		20,561		15	17,834	2,686	26	21,246	15	15
廃プラスチック	16,356	175	16,181	875	705	20		685		15,307		15	13,347	1,924	21	15,991	15	15
廃タイヤ	5,277	22	5,255	1	1			1		5,254			4,487	762	5	5,255		
紙くず	5,617	1,974	3,643	17	5			5		3,626			3,622	4		3,631		
木くず	35,713	79	35,634	2,103	2,043	739		652	652	33,531			33,518	13		34,835		
繊維くず	67		67							67			67			67		
動植物性残さ	334,486	193,097	141,389	6,985	4,276	3,458		818		134,404	101,599		32,805			33,623		
動物系固形不要物	930		930							930			930			930		
ゴムくず	103		103							103		94	8	1		103	94	94
金属くず	31,425	13,392	18,033	5,327	5,285	3,212		2,073		12,706	0		12,591	114	1	14,779		
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	82,593	9,554	73,039	5,579	5,579	1,178		4,401		67,460	2	26	66,399	1,028	5	71,859	26	26
鋸さい	22,056	173	21,883	16,894	16,894	16,894				4,989	4,526		463			463		
がれき類	427,397	5,624	421,773	31,781	31,781	19,035		12,746		389,992	6,660	1	379,322	4,009		396,078	1	1
コンクリート片	229,408	2,979	226,429	10,248	10,248			10,248		216,181			212,818	3,363		226,429		
廃アスファルト	171,913	2,645	169,268	21,533	21,533	19,035		2,498		147,735			147,138	597		150,233		
その他	26,076		26,076							26,076	6,660	1	19,366	49		19,417	1	1
ばいじん	140,492	15,891	124,601							124,601		2,781	121,820			124,601	2,781	2,781
動物のふん尿																		
動物の死体	1,744		1,744							1,744			1,744			1,744		
その他産業廃棄物	26,110	334	25,776	525	217			217		25,251			24,563	684	4	25,468		
感染性廃棄物	2,998		2,998	91	13			13		2,907			2,907			2,920		
混合物等	23,112	334	22,777	434	205			205		22,343			21,656	684	4	22,548		

(その2)

(単位：t/年)

区分 種類	委託処理量 (K) (0+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量						再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)	
		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		処理主体の内訳						
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量 (M1)		最終処分量 (M2)	事業者	自治体	処理業者			
																					(Q)
			(1+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)															
合計	860,726	8,808	7,982	826	8,433	375	851,918	849,161	2,757	845,355	6,563	781,820	752,441	29,379	925,592	43,735	5,548	1,235	36,952	711	1,213,838
燃え殻	622	267	267		267		355	355		355		355	144	211	144	1,697	1,219		478		6,359
汚泥	125,855	3	3		3		125,852	125,852		124,176	1,676	98,440	98,164	276	113,993	1,690	1,411		279	23	155,362
有機性汚泥	81,703						81,703	81,703		81,703		57,351	57,092	259	58,475	259			259		86,039
無機性汚泥	44,152	3	3		3		44,149	44,149		42,473	1,676	41,089	41,072	17	55,518	1,431	1,411		20	23	69,323
廃油	7,621						7,621	7,621		7,566	54	4,946	4,857	89	4,857	89			89		5,204
一般廃油	4,843						4,843	4,843		4,789	53	2,503	2,432	71	2,432	71			71		2,757
廃溶剤	22						22	22		22											
固形油	2,492						2,492	2,492		2,492		2,404	2,403	1	2,403	1			1		2,403
油でい	147						147	147		147		30	22	8	22	8			8		44
油付着物類	117						117	117		116	1	9		9		9			9		
廃酸	705						705	705		364	341	92	41	51	41	51			51		41
廃アルカリ	103						103	103		66	37	46	45	1	45	1			1		45
廃プラスチック類	21,206	2,686	1,860	825	2,678	8	18,520	18,310	210	18,488	32	16,347	7,734	8,613	7,754	11,313	15	845	10,453	26	7,951
廃プラスチック	15,956	1,924	1,098	825	1,916	8	14,032	13,822	210	14,001	31	11,887	3,310	8,577	3,330	10,515	15	845	9,655	21	3,505
廃タイヤ	5,250	762	762		762		4,488	4,488		4,487	1	4,460	4,424	36	4,424	798			798	5	4,446
紙くず	3,631	4	4		4		3,627	3,627		3,627		2,374	2,242	132	2,242	136			136		4,216
木くず	34,183	13	13		13		34,170	33,675	495	34,169	1	26,461	25,245	1,216	25,984	1,229		49	1,180	652	26,063
繊維くず	67						67	67		67		36	34	2	34	2			2		34
動植物性残さ	33,623						33,623	33,580	43	33,623		10,607	10,454	153	115,511	153		3	150		308,608
動物系固形不要物	930						930	930		930		930	930		930						930
ゴムくず	9	1	1		1		8	8		8		5	1	4	1	99	94		5		1
金属くず	14,778	114	114		110	4	14,664	14,645	19	14,664		14,664	14,142	522	17,354	636		2	634	1	30,745
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	71,828	1,028	1,027	1	836	192	70,800	70,558	242	70,756	44	70,601	61,985	8,615	63,166	9,670	26	243	9,400	5	72,720
鋳さい	463						463	463		463		463	463		21,883						22,056
がれき類	396,077	4,009	4,009		3,850	159	392,068	392,068		392,068		392,068	389,573	2,495	415,267	6,505	1		6,504		420,891
コンクリート片	226,429	3,363	3,363		3,363		223,066	223,066		223,066		223,066	221,249	1,817	221,249	5,180			5,180		224,228
廃アスファルト	150,233	597	597		438	159	149,636	149,636		149,636		149,636	149,190	446	168,225	1,043			1,043		170,870
その他	19,415	49	49		49		19,366	19,366		19,366		19,366	19,134	232	25,794	282	1		281		25,794
ばいじん	121,820						121,820	121,820		117,691	4,129	121,820	121,818	2	121,818	2,783	2,781		2		137,709
動物のふん尿																					
動物の死体	1,744						1,744	686	1,058	1,744		453	426	27	426	27		21	6		426
その他産業廃棄物	25,464	684	684		672	12	24,780	24,090	690	24,532	248	21,112	14,142	6,971	14,142	7,654		72	7,582	4	14,476
感染性廃棄物	2,920						2,920	2,920		2,681	239	392	68	324	68	324			324		68
混合物等	22,544	684	684		672	12	21,860	21,170	690	21,851	9	20,720	14,074	6,647	14,074	7,330		72	7,258	4	14,408

表 3 - 3 業種別 - 発生及び処理・処分状況 (平成 28 年度)

(その1)

(単位: /年)

区分 業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)					自己未処理量 (G)					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)		
					(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)						(処理先地域の内訳)		
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)		県内	県外	
					(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)		(I)	(K)	
合計	2,078,922	288,246	1,790,675	907,962	157,422	60,364	1,133	95,273	652	882,714	112,787	4,415	756,645	8,808	59	866,985	5,548	5,548
農業・林業	3,164		3,164							3,164			2,577	566	21	3,164		
漁業	21		21							21			21			21		
鉱業	296	182	114							114			113	1		114		
建設業	501,328	2,956	498,371	30,114	29,868	19,774	9,443		652	468,257	6,662	35	455,926	5,608	27	471,690	35	35
製造業	642,764	253,685	389,079	132,961	58,166	32,185	25,981			256,118	106,125		148,311	1,681	1	175,974		
食料品	379,719	221,594	158,124	5,558	2,812	807	2,005			152,566	101,599		50,736	231		52,972		
飲料・飼料	15,125	1,561	13,564	8,964	3,305	2,715	590			4,600			4,566	34		5,190		
繊維	2		2							2			1	1		2		
木材	317	30	287	121	121		121			166			166			287		
家具	129	50	79							79			79			79		
パルプ・紙	55,956	1,882	54,074	52,771	3,600		3,600			1,303			1,303			4,903		
印刷	1,530	152	1,378	2						1,376			1,376			1,376		
化学	3,121	113	3,008	2,558	828		828			450			435	15		1,278		
石油・石炭	1,753	61	1,692							1,692			1,692			1,692		
プラスチック	552	189	363	20	20	20				343			332	11		343		
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石	136,345	17,698	118,647	42,961	27,512	8,835	18,677			75,686			75,603	83		94,363		
鉄鋼	35,668	4,269	31,399	19,808	19,808	19,808				11,591	4,526		6,254	811		7,065		
非鉄金属	2,305		2,305							2,305			2,074	231		2,305		
金属	8,547	5,486	3,061	62	62		62			2,999			2,741	257	1	3,061		
はん用機器	201	48	153							153			153			153		
生産用機器	13		13							13			13			13		
業務用機器	9		9							9			2	7		9		
電子部品	34		34							34			34			34		
電気機器	214	44	170	136	98		98			34			34			132		
情報通信機器																		
輸送用機器	502	352	150							150			150			150		
その他	724	156	568							568			568			568		
電気・水道業	898,706	30,321	868,385	741,501	68,050	7,928	1,133	58,990		126,883		4,278	122,603	2		187,006	5,411	5,411
電気業	187,724	29,598	158,126	31,988	6,619	5,046	1,100	473		126,138		4,278	121,858	2		127,711	5,378	5,378
ガス業	255	14	241							241			241			241		
上水道業	68,153	709	67,444	67,440	5,683	2,041	33	3,610		4			4			3,647	33	33
下水道業	642,574		642,574	642,074	55,748	841		54,907		500			500			55,407		
運輸・郵便業	4,992	32	4,960							4,960			4,937	18	5	4,960		
卸・小売業	7,357	204	7,153	690	684			684		6,463			6,081	378	4	7,147		
宿泊・飲食サービス業	4,127	157	3,970	18	5			5		3,952		94	3,565	293		3,957	94	94
医療・福祉	4,963	52	4,911	91	13			13		4,820			4,807	13		4,832		
複合サービス事業	238	6	232							232			232			232		
サービス業	5,564	277	5,287	957	96			96		4,330		8	4,156	166		4,426	8	8
その他の業種 ※	5,402	373	5,029	1,629	540	478		62		3,400			3,317	82	1	3,462		

注) ※欄の「その他の業種」は、情報通信業、金融・保険業、不動産・物品賃貸業、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、公務の合計値である。

(その2)

(単位：/年)

区分 業種	委託処理量													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)	
	(K) (O+L)	委託直接最終処分量						(L)	委託中間処理量						(O) (I+O+M2)	処理主体の内訳					
		(O)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量			(Q1)	(Q2)	(Q3)			
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体		県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)									
												再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)								
(O+L)	(O)	業者	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)	(R)	(O) (I+O+M2)	事業者	自治体	処理業者	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)	
合計	860,726	8,808	7,982	826	8,433	375	851,918	849,161	2,757	845,355	6,563	781,820	752,441	29,379	925,592	43,735	5,548	1,235	36,952	711	1,213,838
農業・林業	3,143	566		566	566		2,577	1,317	1,260	2,577		1,043	973	71	973	637		607	30	21	973
漁業	21						21	21		21		16	15	1	15	1			1		15
鉱業	114	1	1		1		113	113		95	18	108	108		108	1			1		290
建設業	470,976	5,608	5,608		5,400	208	465,368	465,368		465,368		455,890	435,542	20,348	461,978	25,990	35		25,956	679	464,934
製造業	175,973	1,681	1,680	1	1,681		174,292	174,232	60	168,092	6,200	146,681	143,303	3,378	281,613	5,059		16	5,043	1	535,299
食料品	52,972	231	231		231		52,741	52,698	43	52,739	2	29,511	29,276	235	131,682	466		3	463		353,277
飲料・飼料	5,190	34	33	1	34		5,156	5,154	2	5,156		4,700	4,685	15	7,400	49		3	46		8,961
繊維	2	1	1		1		1	1		1		1		1	2				2		
木材	287						287	287		287		240	238	2	238	2			2		268
家具	79						79	79		79		72	71	1	71	1			1		121
パルプ・紙	4,903						4,903	4,903		4,903		3,786	3,718	68	3,718	68			68		5,600
印刷	1,376						1,376	1,376		1,352	24	1,260	1,259	1	1,259	1			1		1,411
化学	1,278	15	15		15		1,263	1,263		1,211	52	746	726	20	726	35			35		839
石油・石炭	1,692						1,692	1,692		33	1,659	1,673	1,653	20	1,653	20			20		1,714
プラスチック	343	11	11		11		332	332		332		273	193	80	213	91			91		402
ゴム																					
皮革																					
窯業・土石	94,363	83	83		83		94,280	94,280		94,280		93,172	92,849	323	101,684	406			406		119,382
鉄鋼	7,065	811	811		811		6,254	6,254		2,125	4,129	6,236	5,917	319	30,251	1,130			1,130		34,520
非鉄金属	2,305	231	231		231		2,074	2,074		2,074		1,918	1,091	827	1,091	1,058			1,058		1,091
金属	3,060	257	257		257		2,803	2,788	15	2,503	300	2,143	1,337	806	1,337	1,063		10	1,053	1	6,823
はん用機器	153						153	153		153		153	115	38	115	38			38		163
生産用機器	13						13	13		13		7	7		7						7
業務用機器	9	7	7		7		2	2		2		2		2	9				9		
電子部品	34						34	34			34	10	10		10						10
電気機器	132						132	132		132		112	108	4	108	4			4		152
情報通信機器																					
輸送用機器	150						150	150		150		105	13	92	13	92			92		365
その他	568						568	568		568		562	38	524	38	524			524		194
電気・水道業	181,595	2	2		2		181,593	181,593		181,550	43	159,690	159,606	84	167,534	5,497	5,411		86		197,855
電気業	122,333	2	2		2		122,331	122,331		122,288	43	122,196	122,129	66	127,175	5,447	5,378		68		156,774
ガス業	241						241	241		241		241	241		241						255
上水道業	3,614						3,614	3,614		3,614		3,614	3,612	2	5,652	35	33		2		6,361
下水道業	55,407						55,407	55,407		55,407		33,639	33,624	15	34,465	15			15		34,465
運輸・郵便業	4,955	18	18		18		4,937	4,937		4,923	14	4,832	4,612	220	4,612	238			238	5	4,644
卸・小売業	7,143	378	378		378		6,765	6,024	741	6,765		5,009	3,252	1,757	3,252	2,135		277	1,858	4	3,456
宿泊・飲食サービス業	3,863	293	34	259	293		3,570	3,568	2	3,567	3	1,837	1,560	277	1,560	664	94	261	309		1,717
医療・福祉	4,832	13	13		10	3	4,819	4,144	675	4,586	233	961	192	770	192	783		70	713		244
複合サービス事業	232						232	229	3	232		231	201	30	201	30		2	28		207
サービス業	4,418	166	166		7	159	4,252	4,236	16	4,252		2,584	2,125	459	2,125	633	8	2	623		2,402
その他の業種 ※	3,461	82	82		77	5	3,379	3,379		3,328	51	2,937	951	1,986	1,429	2,068			2,068	1	1,802

注) ※欄の「その他の業種」は、情報通信業、金融・保険業、不動産・物品賃貸業、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、公務の合計値である。

資料4. 意識調査結果

沖縄県内に所在する排出事業者 200 件（平成 26 年 9 月に実施した「平成 26 年度沖縄県産業廃棄物実態調査」の調査対象事業所 4,188 件の中から多量排出事業者等を抽出）、沖縄県内に所在する全ての産業廃棄物処分業者 166 件に対して産業廃棄物に関する意識調査を実施した。それぞれの回答（有効）の内訳は、排出事業者が 170 件（宛先不明 2 件除く。回答率 85.9%=170/198）、処分業者 96 件（宛先不明 2 件除く。回答率 58.5%=96/164）となっている。

1. 排出事業者

問 1 有償物の発生、廃棄物の自社処分・保管等について

（1）貴事業所では、平成 28 年度に事業活動に伴って生じた物で、他社に有償で売却した物、あるいは自社の原料や燃料等に利用した物が発生しましたか。該当する番号を 1 つ選び○をつけてください。

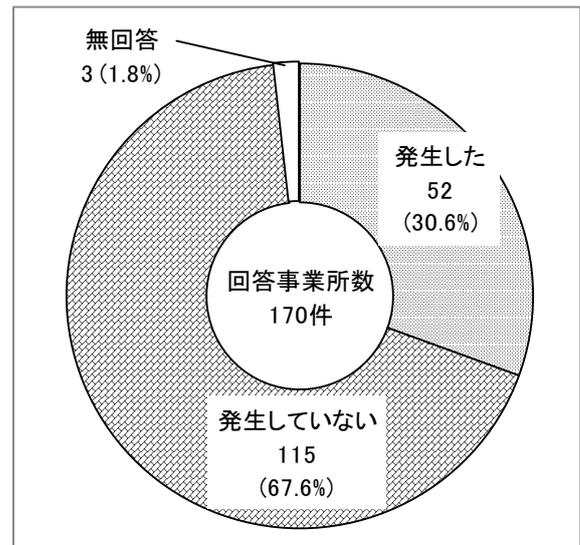
また、発生した場合は、その種類、おおよその量、売却先（県名のみ。海外の場合は国名）、利用用途（わかる範囲で結構です）をご記入ください。

①有償物

事業活動に伴って有償物が発生したと回答のあった事業所は 30.6%（52 件）となっている。

種類別にみると、汚泥、動植物性残さ、鉱さい、ガラス・コンクリート・陶磁器くず等となっている。また、主な売却先の地域は沖縄県内となっているが、鉱さいなど一部は県外へ売却されているものもある。

主な種類の利用用途では、汚泥は「堆肥、セメント原料」、動植物性残さは「堆肥、飼料」、ガラス・コンクリート・陶磁器くずは「トンプロック、セメント原料」等となっている。



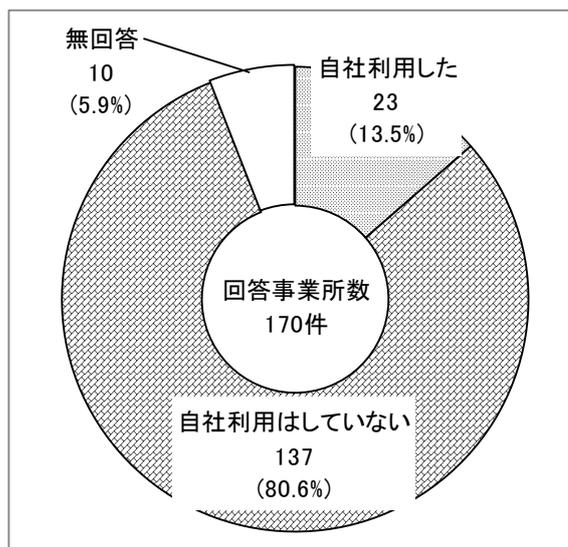
種類	有償物量(t)	売却先地域 (都道府県)	主な利用用途
汚泥	33,713	沖縄県	堆肥、セメント原料
動植物性残さ	18,042	沖縄県	堆肥、飼料
鉱さい	13,816	沖縄県、大阪府	
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	11,470	沖縄県	トンプロック、セメント原料
金属くず	7,129	沖縄県	金属利用
燃え殻	4,955	沖縄県	土壌改良材等
ばいじん	2,940	沖縄県	セメント原料
がれき類	2,000	沖縄県	路盤材
紙くず	567	沖縄県	古紙再生
廃プラスチック類	177	沖縄県	マテリアルリサイクル
その他	166		

② 自社利用した物

自社利用の副産物があると回答のあった事業所は 13.5% (23 件) となっている。

種類別で見ると、動植物性残さ、汚泥、ばいじん等となっている。

また、主な利用用途では、動植物性残さは「ボイラー燃料、堆肥、製品製造の原料、清涼飲料水」、汚泥は「生コンクリート練り混ぜ水、堆肥、ブロック製作、花壇等の土壌改良」、ばいじんは「土木資材」等となっている。

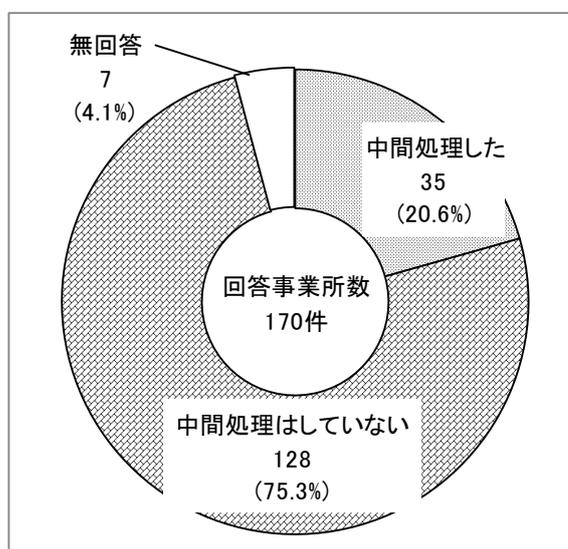


種類	自社利用した量(t)	主な利用用途
動植物性残さ	105,666	ボイラー燃料, 堆肥, 製品製造の原料, 清涼飲料水
汚泥	17,707	生コンの練混ぜ水、堆肥、ブロック製作、花壇等の土壌改良
ばいじん	11,436	土木資材
鉱さい	3,201	土木資材
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1,280	ブロック製作
燃え殻	1,127	土地造成材
廃プラスチック類	2	防草用シート等
消化ガス	4,788,106Nm ³	発電機燃料

③ 自社中間処理した物

自社で中間処理したと回答のあった事業所は 20.6% (35 件) となっている。

種類別で見ると、汚泥、鉱さい、動植物性残さが多くなっている。

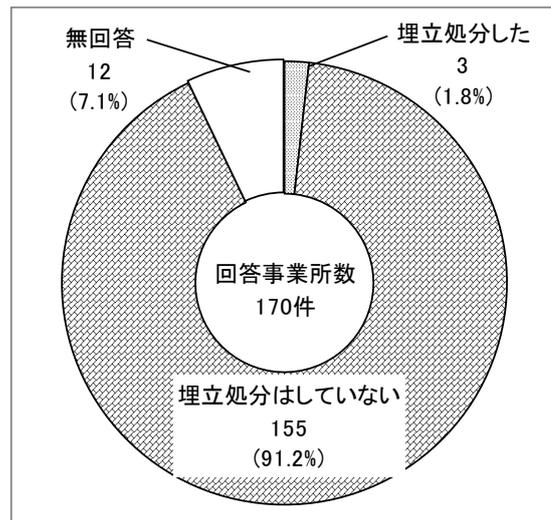


種類	自社中間処理した量(t)
汚泥	96,861
鉱さい	16,894
動植物性残さ	4,077
金属くず	2,915
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1,178
がれき類	974
ばいじん	732
廃プラスチック類	5
感染性廃棄物	1

④ 自社埋立処分した物

自社埋立処分したと回答のあった事業所は 1.8% (3 件) で、電気業 (火力発電所) の事業所である。

種類別では、ばいじん、燃え殻、汚泥となっている。

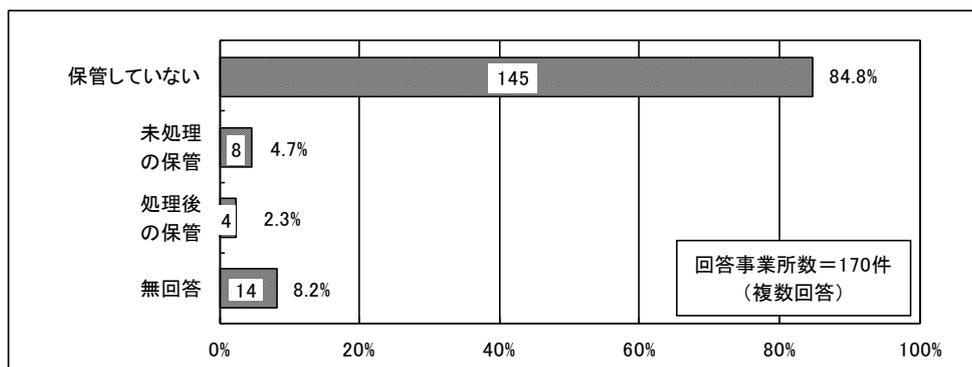


種類	自社埋立処分した量(t)
ばいじん	2,781
燃え殻	1,219
汚泥	278

⑤ 自社保管物

自社保管物があると回答のあった事業所は 7.0% (12 件) で、そのうち未処理保管が 4.7% (8 件)、処理後保管が 2.3% (4 件) となっている。

種類別でみると、未処理保管は鉱さい、燃え殻、ガラス・コンクリート・陶磁器くず等があり、処理後保管は鉱さい、汚泥等がある。



※複数回答した事業者があるため、各回答の合計数は 171 件となっている。

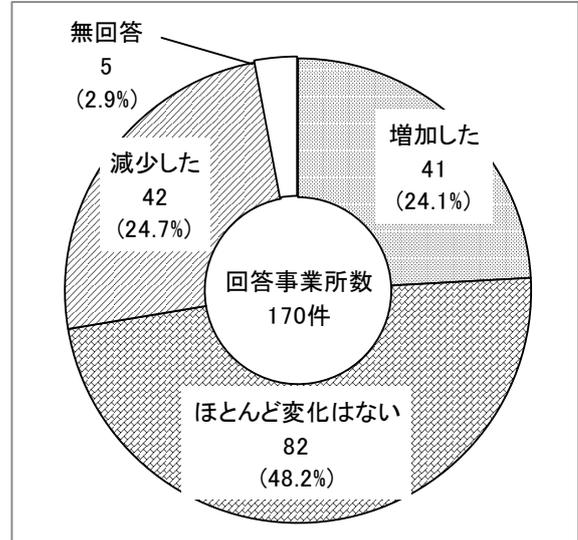
種類	自社未処理保管量(t)	自社処理後保管量(t)
鉱さい	39,758	4,526
燃え殻	607	—
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	546	—
廃油	0.4	—
汚泥	—	100

問 2 産業廃棄物の排出量について

貴事業所における平成 28 年度の産業廃棄物の排出量は、前年度（平成 27 年度）に比べて変化しましたか。該当する番号に 1 つ〇をつけてください。また、おおよその増減率、その理由等をお聞かせください。

平成 28 年度の産業廃棄物の排出量については、前年度と比べて「ほとんど変化はない」と回答した事業所が 48.2%（82 件）で最も多く、「増加した」が 24.1%（41 件）、「減少した」が 24.7%（42 件）とほぼ同程度となっている。

排出量の増減理由をみると、「受注量の拡大・縮小」「出荷量・製造量の増加・減少」など景気・経済的理由が大部分を占めている。



< 増加の理由 >

受注工事の大幅な増加（特に既存建物の解体によるコンクリート、アスコンの増加）
生コン出荷量の増加に比例して増加、及び積載量の適正化により使用台数が多くなり、洗浄残渣が増加した。
長期間、社内で保管していた廃棄物を一括処分したため
敷地内（工場）の整理整頓を徹底したため。
流入下水量が増加したことによるもの

< 減少の理由 >

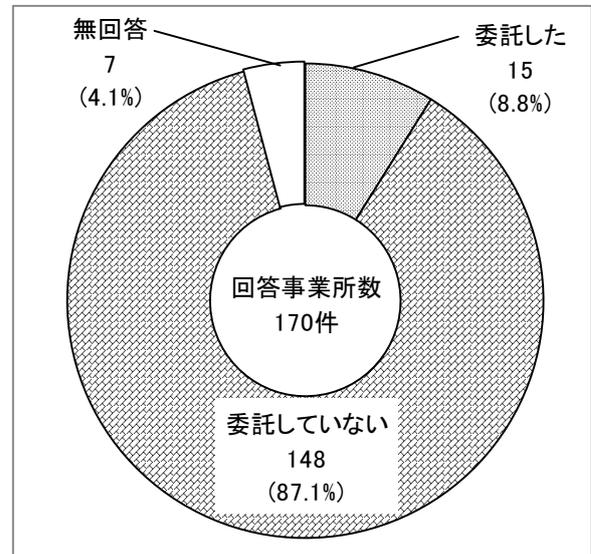
工事受注の関係で、主にコンクリートがら、アスファルトがらが減少したため。
工事の受注量による減少と、産業廃棄物の抑制、分別、減量を促進したため。
主に、患者数の減少によるもの。
医療廃棄物は微減となっており、医療機器・OA機器を含む備品や金属くず等は半減した。
排水処理施設の運転方法を見直し、含水率を76.5%(H27)から74.4%(H28)まで引き下げたことにより、発生土量が減少した。
大型施設解体物件の減少のため。

問3 産業廃棄物の県外処理について

(1) 貴事業所では、平成28年度に県外業者に中間処理を委託しましたか。該当する番号を1つ選び○をつけてください。また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、委託先(県名、業者名)について、ご記入ください。

産業廃棄物の中間処理について、県外業者に処理を「委託した」事業所は8.8%(15件)と約1割であり、8割強(148件、87.1%)の事業所は県外業者への委託を行っていない。

県外業者への委託を行っている産業廃棄物の種類は、ばいじん、廃油(特定有害)、汚泥(特定有害)等が多く、委託量でみると福岡県、広島県、北海道等が多くなっている。

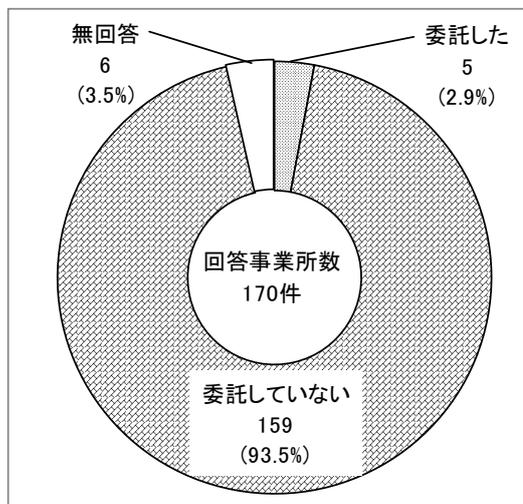


種類	委託量(t)	県外委託先
ばいじん	4,129	福岡県
廃油(特定有害)	1,480	福岡県
汚泥(特定有害)	125	広島県、福岡県、北海道
感染性廃棄物	85	山口県
廃石綿等(特定有害)	3	熊本県
可燃性廃油	1	福岡県
廃酸(特定有害)	1	福岡県
混合廃棄物	1	神奈川県

(2) 貴事業所では、県外業者にリサイクル（再生利用）を委託しましたか。該当する番号を1つ選び○をつけてください。また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、主な委託先、利用用途（わかる範囲）について、ご記入ください。

リサイクル（再生利用）について、県外業者にリサイクルを「委託した」事業所は2.9%（5件）と僅かで、約9割（159件、93.5%）の事業所は県外業者への委託は行っていない。

県外業者にリサイクルを委託した産業廃棄物の種類はコンクリートくずが大部分を占めており、主に路盤材などとしてリサイクルされている。

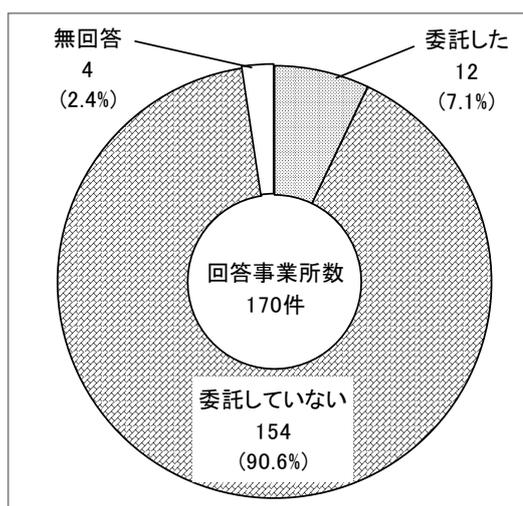


種類	委託量(t)	主な利用用途	県外委託先
コンクリートくず	8,682	路盤材など	山口県
シュレッダーダスト	873	セメント原料	福岡県
感染性廃棄物	44.1	路盤材など	山口県
廃バンパー	0.500	プラスチック製品リサイクル	熊本県

(3) 貴事業所では、県外業者に埋立処分を委託しましたか。該当する番号を1つ選び○をつけてください。また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、委託先について、ご記入ください。

埋立処分について、県外業者に埋立処分を「委託した」事業所は7.1%（12件）と1割未満で、90.6%（154件）の事業所は県外業者への委託は行っていない。

県外業者への委託を行っている産業廃棄物の種類は、管理型混合廃棄物、シュレッダーダスト、がれき類等で、委託先は宮崎県、熊本県、鹿児島県等の九州地区となっている。

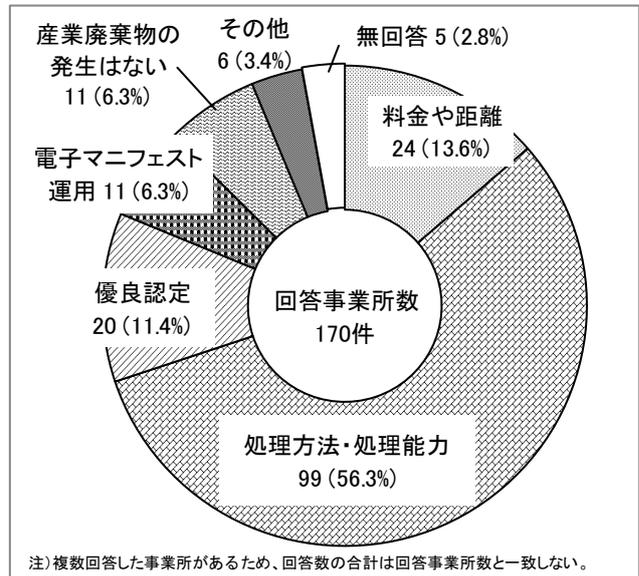


種類	委託量(t)	県外委託先
混合廃棄物(管理型)	4,008	宮崎県
シュレッダーダスト	1,391	宮崎県
がれき類	1,241	宮崎県、熊本県
廃プラスチック類	54	宮崎県
廃石綿(飛散性)	29	宮崎県、熊本県、鹿児島県
石綿含有廃棄物(非飛散性)	16	宮崎県、鹿児島県

問 4 産業廃棄物処理業者への処理委託について

近年、産業廃棄物の収集運搬業、処理業等の許可を得ていないにも関わらず収集運搬や処理事業を行ったとして、排出事業者や処理業者が廃棄物処理法違反の罪に問われる事例が発生しています。貴事業所では、産業廃棄物の中間処理、最終処分（再生を含む）を行う業者と処理委託契約を結ぶ際、最も重視する項目は何ですか。該当する番号を1つ選び○をつけてください。

産業廃棄物の中間処理、最終処分を委託する際、最も重視する項目は「処理委託する産業廃棄物の種類・量に対して、処理方法・処理能力が適切かどうか」（99件、56.3%）であり、次いで、「料金や運搬距離（近さ）」（24件、13.6%）、「優良産廃処理業者の認定を受けているかどうか」（20件、11.4%）、の順となっている。



問 5 大規模災害発生時のBCP（事業継続計画）について

大規模災害（地震、津波、風水害等）により発生した災害廃棄物の処理について、全国的に検討が進められています。沖縄県においても、大規模災害発生時の災害廃棄物処理を迅速かつ適切に進めるため、平成29年3月に沖縄県災害廃棄物処理計画※を策定しました。

大規模災害発生時には、事業所自体が被災する可能性があります。貴事業所では、大規模災害により事業所に損害が発生した際のBCP（事業継続計画）を作成していますか。また、災害廃棄物に対するリスク管理（危険物の流出防止措置等）に関する定めを設けていますか。該当する番号に1つ○をつけてください。

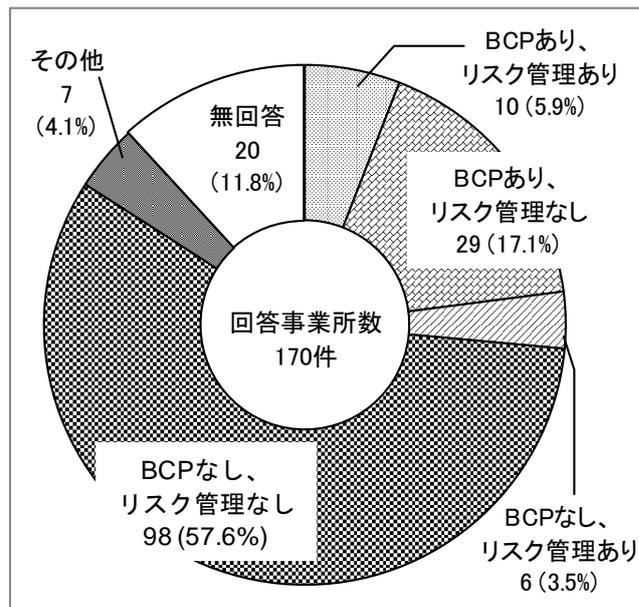
※沖縄県災害廃棄物処理計画の詳細は県ホームページ

(http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/seibi/saigaihaikibusyorikeikaku/saigai_keikaku_gaiyou.html) をご覧ください。

また、BCP（事業継続計画）の詳細は内閣府ホームページ (<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/index.html>) をご覧ください。

大規模災害発生時のBCP（事業継続計画）の作成については、「BCPの作成なし、災害廃棄物に対するリスク管理なし」（98件、57.6%）の事業所が最も多く、次いで「BCPの作成あり、災害廃棄物に対するリスク管理なし」（29件、17.1%）、「BCPの作成あり、災害廃棄物に対するリスク管理あり」（10件、5.9%）の順となっている。

全体としては、BCPを作成している事業所が23.0%（39件）、災害廃棄物に対するリスク管理に関する定めを設けている事業所が9.4%（16件）となっている。

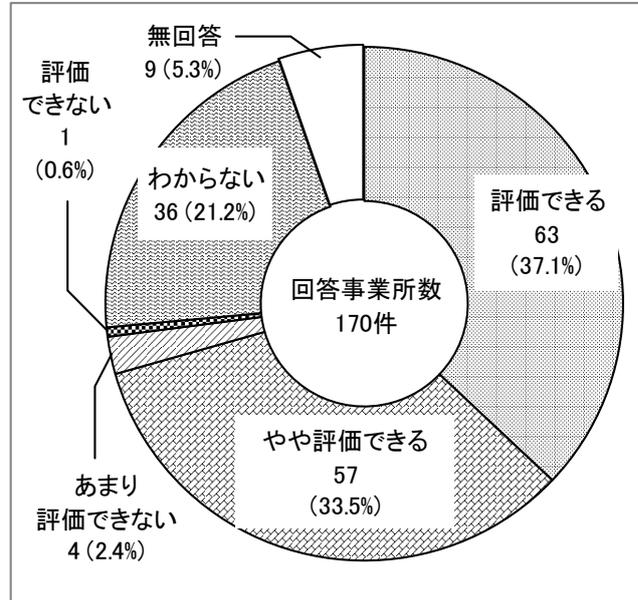


問 6 産業廃棄物税について

(1) 沖縄県では、平成 18 年 4 月 1 日から「産業廃棄物税（法定外目的税）」を導入しています。その税収は、産業廃棄物の排出抑制、再生利用、適正処理を推進するため、①公共関与による産業廃棄物最終処分場の周辺環境整備、②事業者等による排出抑制・リサイクル等への支援、③処理業の優良化の促進、④不法投棄等防止対策等の施策に充てています。貴事業所では、これらの税収の使途・事業等について、どのようにお考えですか。該当する番号に1つ〇をつけてください。

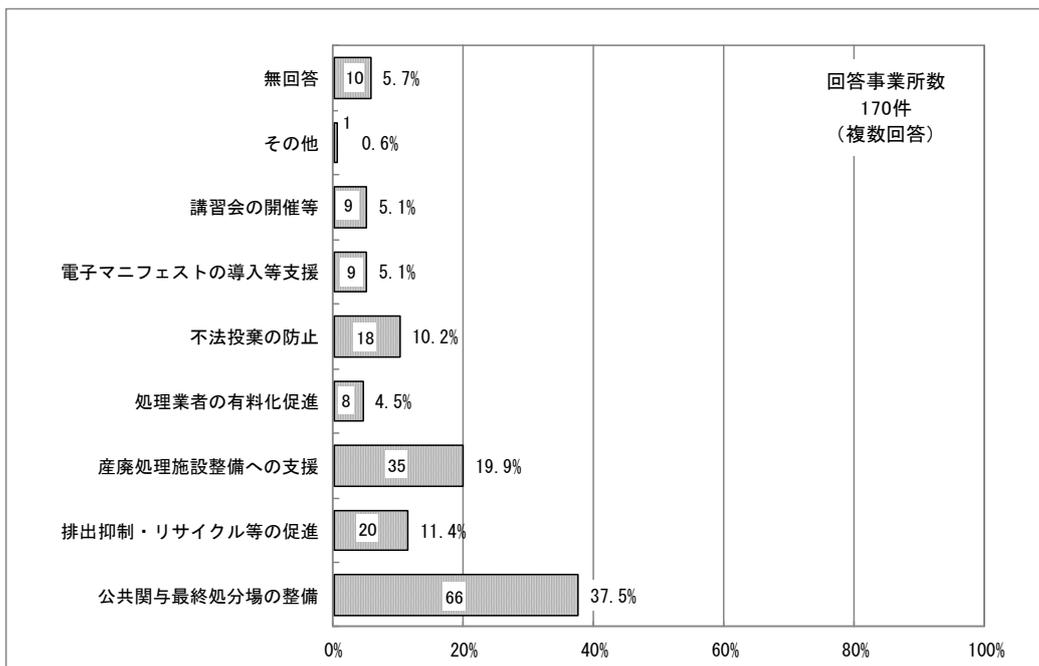
税収の使途・事業等については、「評価できる」が 37.1%（63 件）で、「やや評価できる」（57 件、33.5%）を合わせると約 7 割（70.6%）を占めている。

一方、「あまり評価できない」は 2.4%（4 件）、「評価できない」は 0.6%（1 件）と僅かで、「わからない」が 21.2%（36 件）となっている。



(2) 貴事業所が望む税収の使途・事業等について、該当する番号に1つ〇をつけてください。

排出事業者が望む税収の使途・事業等については、「公共関与による産業廃棄物処分場の整備を強化すべき」（66 件、37.5%）が最も多く、次いで、「産業廃棄物処理施設整備への支援を強化すべき」（35 件、19.9%）、「産業廃棄物の排出抑制・リサイクル等の促進を強化すべき」（20 件、11.4%）等の意見が多くなっている。



問 7 その他

産業廃棄物の処理等に関する課題・問題点、県に対する要望等、ご自由にお書き下さい。

産業廃棄物の処理に関する課題や問題点、県への要望は以下のとおりであり、県内の産業廃棄物処理施設の不足に伴い、新たな施設の整備を望む意見が多くなっている。

産廃処理等に関する 課題・問題点・要望等
ごみの問題は、電気・ガス・水道と同じようにライフラインとして、行政が関与して適正処理できる様にしてほしい。健康被害が起きてからでは遅いと思う。
沖縄県内に、処理能力の高い中間処理場、最終処分場を増設することを検討してほしい。
県内で発生する廃棄物を、県内で処理出来る体制(設備等)を確立してほしい。
県内発生廃石綿等の処理施設をどのように対策していくかが今後の課題と考える。
沖縄県内の処理施設は、絶対的に不足している。行政の力で整備してほしい。
最終処分が県外とならないように、早めの整備強化をお願いします。
産廃の処分委託を信頼できる業者に任せたいが、県内では処分業許可証を持っている業者自体が非常に少なく、入札を行っても毎回同じ業者が落札するようになっている。処理業者の優良化および許可業者の増加による適正な競争の促進を希望する。
県内の最終処分場の整備・充実を早急に実施してほしい。
各市町村と連携し、サーマルリサイクル施設を増設してほしい。
産業廃棄物処分業が少ない。
前問(2)の選択肢にあるすべてを強化してほしい。
3R活動推進、県民全体の意識を上げる取り組みを期待します。
各事業所に訪問し、現場の従業員、作業員へ産業廃棄物とはどんなものか(産廃と一般廃棄物の違い等)をレクチャーしてほしい。管理している者だけでは、聞き入れてくれない現状がある。
電子マニフェストを無償で普及させてほしい。
価格を安くしてほしい。

2. 処分業者

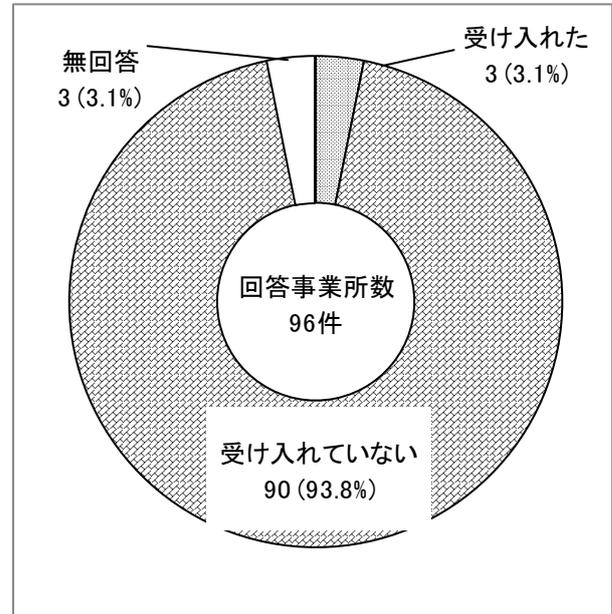
問1 米軍廃棄物の受入について

貴事業所では、平成28年度に米軍基地からの廃棄物等（①有価物・有償物、②産業廃棄物、③一般廃棄物のいずれか）を受け入れましたか。該当する番号に○をつけてください。なお、受け入れた場合は、年間の受入総量とそのうち上位3件の排出場所（基地名）、年間の受入量、主な種類、資源化用途、処理方法等を記入してください。

①有価物・有償物について

米軍基地から有価物・有償物を「受け入れた」と回答した事業所は3.1%（3件）となっている。

回答のあった事業所について、排出場所（基地名）、受入量、主な種類等をまとめると、以下のとおりである。

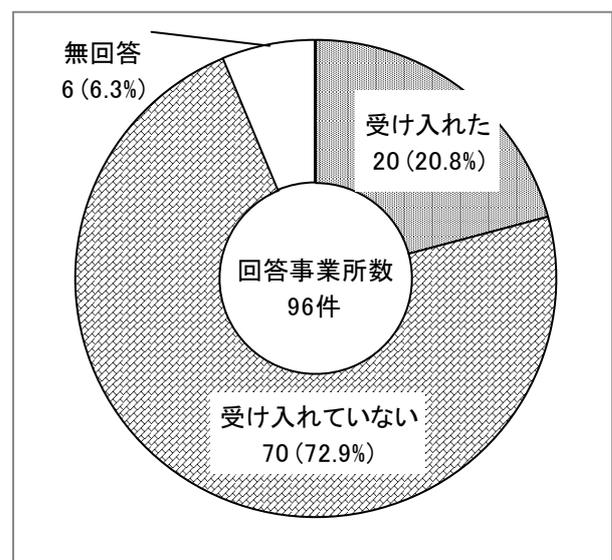


基地名	年間受入量(t)	主な種類	主な資源化用途
キャンプ・キンザー	2109	鉄スクラップ	電気炉製鋼原料
キャンプ・コートニー	12.4	廃油	ボイラー燃料
嘉手納飛行場	6.6	廃油	ボイラー燃料
ToriiStation	3.5	廃油	ボイラー燃料

②産業廃棄物について

米軍基地から産業廃棄物を「受け入れた」と回答した事業所は20.8%（20件）となっている。

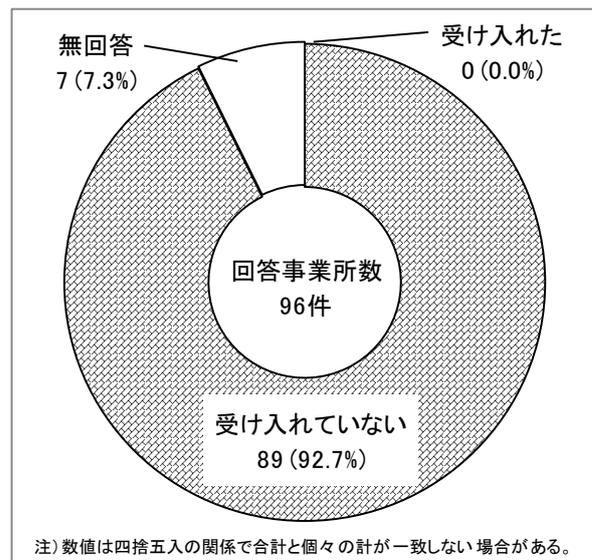
回答のあった事業所について、排出場所（基地名）、受入量、主な種類等をまとめると、以下のとおりである。



基地名	年間受入量(t)	主な種類	主な処理方法
キャンプ・フォスター	27,501	コンガラ	破碎
		汚泥、混合物	焼却
		破碎、選別、再生	コンクリート塊
		破碎	コンクリートがら
		破碎	がれき類、廃プラ
嘉手納飛行場	16,115	アスファルト殻	破碎
		廃プラスチック類、木くず、陶磁	破碎、切断
		廃タイヤ	破碎
		破碎、選別、再生	コンクリートがら
		破碎、切断	アスファルト殻
普天間	2,857	コンクリート塊	破碎、選別、再生
		木くず	破碎
		汚泥	焼却
ホワイトビーチ	1,208	コンクリート塊	破碎
		コンクリート、廃プラ	選別
		アスコンがら	破碎
		汚泥	固液分離
		がれき類	破碎
キャンプ・ハンセン	724	汚泥	中間処理(発酵)
		木くず	破碎
キャンプ・キンザー	529	石膏ボード、木くず	破碎、分別
キャンプ・シュワブ	541	汚泥	焼却、中間処理(発酵)
		木くず	破碎
		アスファルト殻	破碎
DLA沖縄	135	木くず	破碎
チバナハウジング	97	アスコンがら	破碎
キャンプ・シールズ	131	汚泥	固液分離
		沈砂地汚泥(無機性)	造粒固化→リサイクル
キャンプ・コートニー	79	汚泥	中間処理(発酵)
		廃タイヤ	破碎
Fort Buckner	30	アスファルト殻	破碎
海兵隊	14	蛍光管	破碎、研磨、洗浄、固化

③ 一般廃棄物について

米軍基地から一般廃棄物を「受け入れた」と回答した事業所はなく、無回答の事業所を除くと、米軍から一般廃棄物を受け入れていない事業所は 92.7% (89 件) となっている。

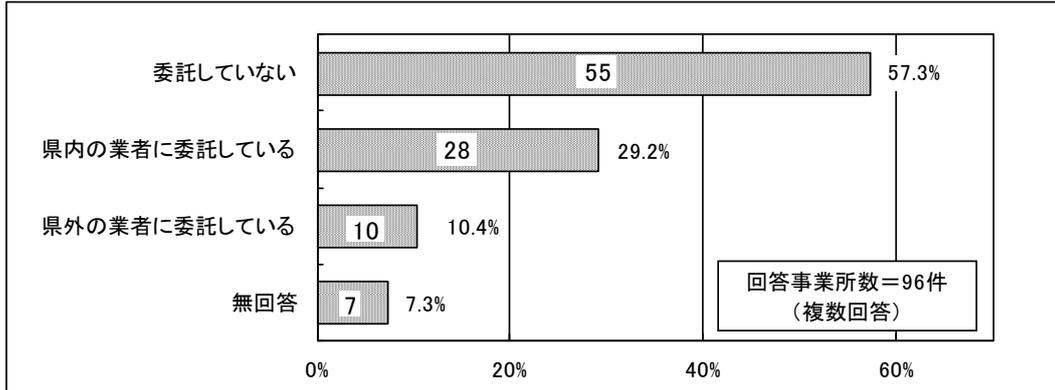


問 2 中間処理残さ物の処分について

(1) 貴事業所では、平成 28 年度に自社中間処理後の残さ物を県内又は県外業者に委託処理しましたか。該当する番号を1つ選び○をつけてください。また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、委託先（県名、業者名）など委託内容について、ご記入ください。（主な種類2つまで）

中間処理後の残さ物の処分については、「委託していない」が最も多く（55 件、57.3%）、「県内の業者に委託している」が 29.2%（28 件）、「県外の業者に委託している」が 10.4%（10 件）となっている。

また、県内及び県外委託の内容（種類、委託量、委託先等）については以下のとおりである。



※複数回答した事業者があるため、各回答の合計は 100 件となる。

< 県内委託の状況 >

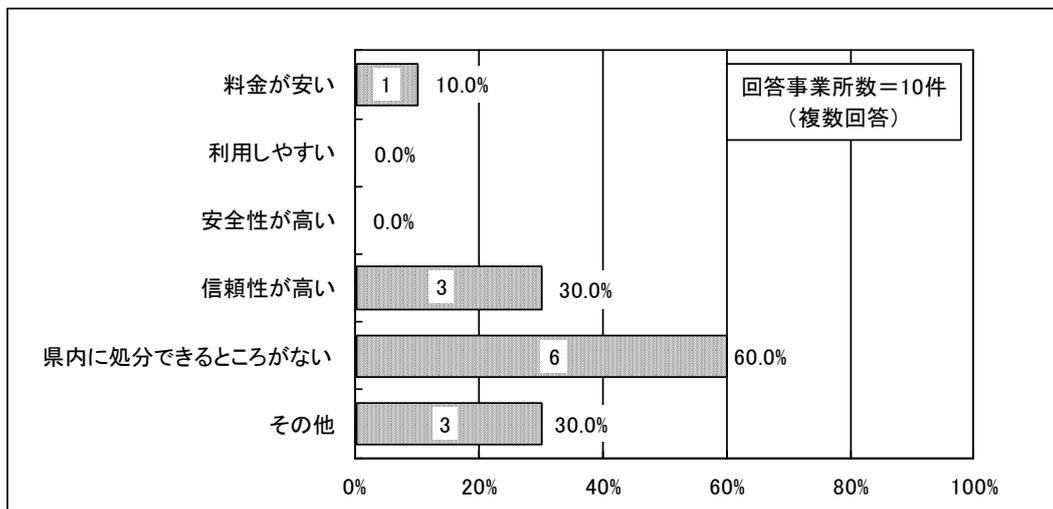
委託の内容	主な種類	年間委託量(t)
中間処理	廃プラスチック	41
	混合(管理型含む)	271
	含油廃水	16
	汚泥	1,031
	混合ごみ	3
	木くず	1,213
	廃木材	387
	燃え殻	2,297
	廃プラ、木くず混合物	20
	廃プラ、混合ゴミ、繊維、金属くず、塩ビ	11
	再生利用	金属くず
木くず		1,378
鉄くず		627
ダンボール		59
アルミ		1
ガラスくず		86
廃プラスチック、口金、アルミ		4
アスファルトがら		7
コンクリートがら		13
埋立処分		木くず
	廃プラ、紙くず	6
	安定型品目	646
	フレキシブルボード	1
	ガラスくず	4
	廃プラスチック類	65

< 県外委託の状況 >

委託の内容	主な種類	年間委託量(t)	委託先
中間処理	中和後廃液(濃縮)	20	福岡県
	蛍光管、乾電池、体温計、血圧計	35	北海道
	シュレッダーダスト	138	福岡県
再生利用	木くず	668	熊本県
	石膏ボード	495	福岡県
	廃プラスチック類(廃タイヤ)	488	宮崎県
埋立処分	燃え殻	4	宮崎県
	混合廃棄物	360	宮崎県
	石膏ボード	386	宮崎県
	ばいじん	119	宮崎県
	管理型がれき(残渣)	824	宮崎県
	アスベスト含有材	0.2	熊本県
	シュレッダーダスト	202	宮崎県

(2) 上記設問で「3 県外の業者に委託している」に○印をつけた方にお聞きします。それはどういう理由ですか。該当する番号に○印(2つまで)をつけてください。

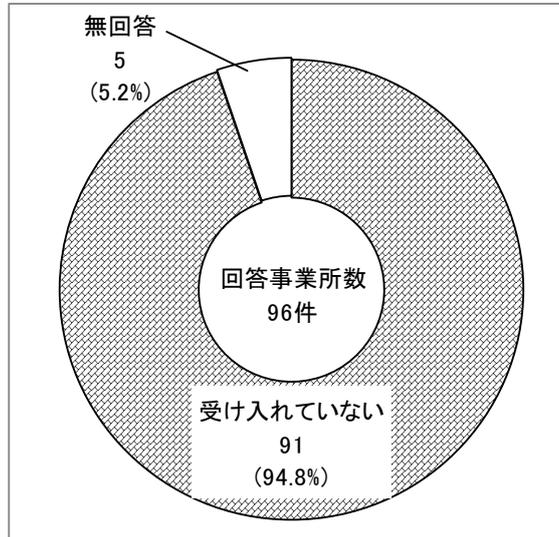
県外委託の理由については、「県内に処分できるところがない」(6件、60.0%)が最も多くなっている。また、その他の理由としては、「県内の処分場が受け入れ停止となったため」、「処理後の残渣をコンクリート原料等に再利用できるため」等が挙げられている。



問3 県外から搬入のあった産業廃棄物について

貴事業所では、平成28年度に県外から処理・処分を目的とする産業廃棄物を受け入れましたか。該当する番号を選び○をつけてください。また、受け入れた場合は、その種類・量等をご記入ください。

県外からの産業廃棄物の受入については、無回答の事業所を除き、いずれの事業所も受け入れていない。



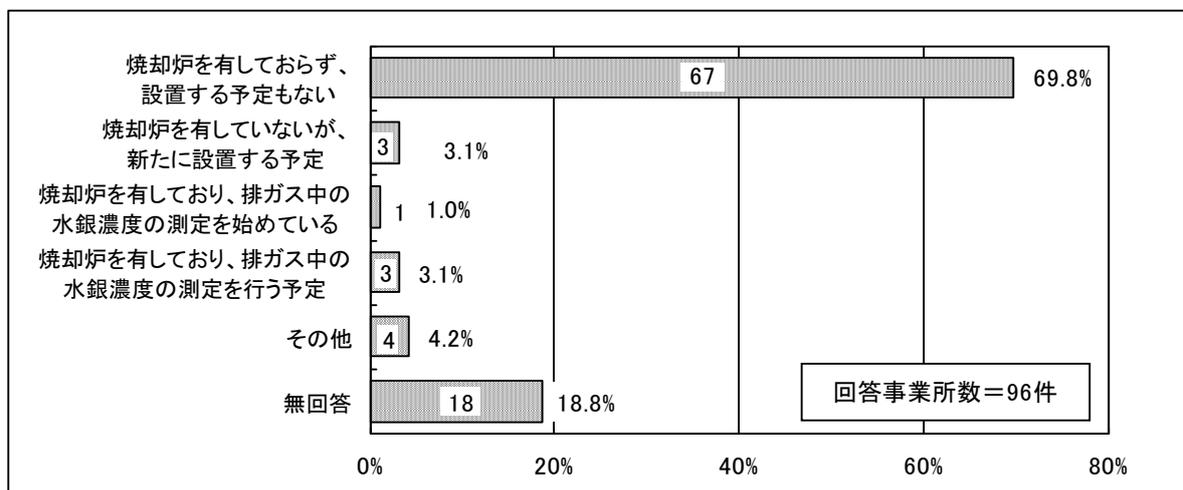
問4 水銀規制について

「水銀に関する水俣条約」の発効に伴う大気汚染防止法の改正により、廃棄物焼却炉（火格子面積2㎡以上又は処理能力200kg/h以上）に対して水銀の大気への排出基準が定められています（規制は平成30年4月1日より施行）。また、水銀排出施設設置の届出のほか、排ガス中の水銀濃度の測定も義務化されます。

貴事業所では、産業廃棄物の中間処理施設として焼却炉（火格子面積2㎡以上又は処理能力200kg/h以上）を有していますか。また、有している場合、水銀濃度の測定等を行っていますか。該当する番号に○をつけてください。

水銀規制については、「焼却炉を有しておらず、設置する予定もない」と回答した事業所が69.8%（67件）で最も多くなっている。

また、焼却炉を有している事業者のうち、既に排ガス中の水銀濃度の測定を始めている事業者が1.0%（1件）、今後測定を行う予定の事業者が3.1%（3件）となっている。



問5 大規模災害発生時のBCP（事業継続計画）について

大規模災害（地震、津波、風水害等）により発生した災害廃棄物の処理について、全国的に検討が進められています。沖縄県においても、平成29年3月に沖縄県災害廃棄物処理計画*を策定しました。

貴事業所においては、大規模災害によって事業所に損害が発生した場合でも損害を最小限に留め、事業の早期復旧を図ることを目的としたBCP（事業継続計画）を作成していますか。また、発災時に、災害廃棄物の処理を支援する体制は構築していますか。該当する番号に○をつけてください。

*沖縄県災害廃棄物処理計画の詳細は県のホームページ

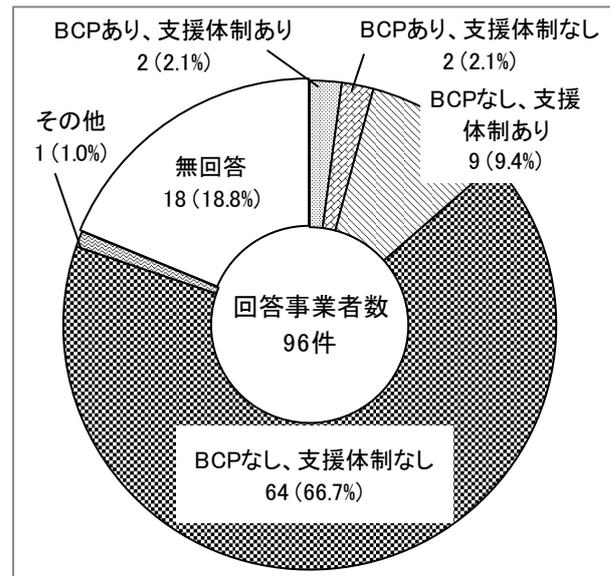
(http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/seibi/saigaihaikibusyorikeikaku/saigai_keikaku_gaiyou.html)

をご覧ください。また、BCP（事業継続計画）の詳細は内閣府ホームページ

(<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyuu/keizoku/index.html>) をご覧ください。

大規模災害発生時のBCP（事業継続計画）については、「BCPの作成なし、発災時の処理支援体制なし」（64件、66.7%）の事業所が最も多く、次いで「BCPの作成なし、発災時の処理支援体制あり」（9件、9.4%）、「BCPの作成あり、発災時の処理支援体制あり」、「BCPの作成あり、発災時の処理支援体制なし」（いずれも2件、2.1%）の順となっている。

全体としては、BCPを作成している事業所が4.2%（4件）、発災時の処理支援体制を構築している事業所が11.5%（11件）となっている。



問6 産業廃棄物税導入による影響・効果について

(1) 沖縄県では、平成18年4月1日から「産業廃棄物税（法定外目的税）」を導入しています。その税収は、産業廃棄物の排出抑制、再生利用、適正処理を推進するため、① 公共関与による産業廃棄物最終処分場の整備、② 事業者等による排出抑制・リサイクル等への支援、③ 処理業の優良化の促進、④ 不法投棄等防止対策等の施策に充てています。

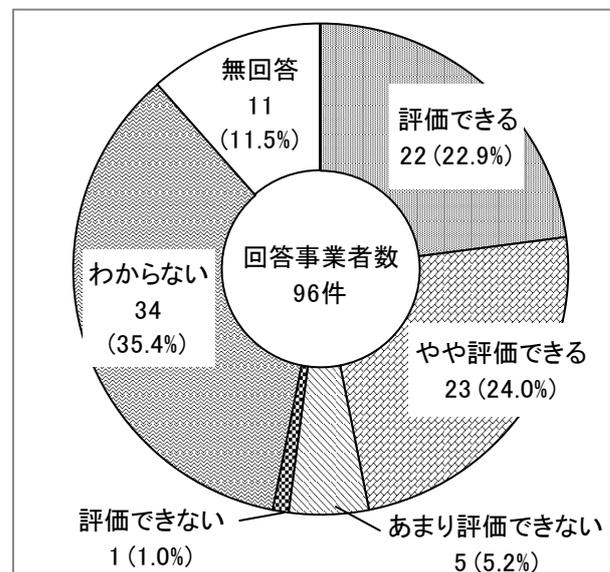
貴事業所では、これらの税収の使途・事業等について、どのようにお考えですか。該当する番号に1つ○をつけてください。

※税制度・使途等については、県ホームページの税務課、環境整備課のサイト

(<http://www.pref.okinawa.jp/site/somu/zeimu/kazei/7631.html>) をご覧ください。

税収の使途・事業等については、「やや評価できる」が24.0%（23件）と最も多く、「評価できる」（22.9%：22件）を合わせると約5割（46.9%）を占めている。

一方、「あまり評価できない」は5.2%（5件）、「評価できない」は1.0%（1件）である。「わからない」は35.4%（34件）となっている。



(2) 今後、税収の使途・事業として、どのような施策を充実すべきだとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

処分業者が望む税収の使途・事業等については、「産業廃棄物処理施設整備への支援を強化すべき」(37件、20.4%)が最も多く、次いで、「公共関与による産業廃棄物処分場の整備を強化すべき」、「産業廃棄物の排出抑制・リサイクル等の促進を強化すべき」(いずれも30件、16.6%)、「不法投棄の防止対策や監視・指導體制を強化すべき」(29件、16.0%)等の意見が多くなっている。

